

平成28年 (2016年) 2月

第137号

市議会12月定例会から

11 11111

議長に 久米 良久 議員 副議長に 橋本 幸子 議員を選出

もくじ CONTENTS

	_
12月定例会の概要	
決算の審査概要	
一般質問 4~	
意見書······	
委員会の審査状況	1 C
議決結果一覧	11
議会組織一覧	12

淡島海岸(1月1日撮影)

12月定例会の概要

した。 12月定例会は12月7日から24日までの18日間の会期で開きま

の市長提出議案と議員提出議案3件及び請願4件を審議しまし 補正予算議案2件、人事案件4件、その他の議案2件の計14件 今議会では、条例の制定議案2件、 その結果、市長提出議案、議員提出議案及び9月定 条例の一部改正議案4件

同意、適任とし、請願4件については、2件を採択、 例会で継続審査としていた平成26年度各会計歳入歳出 えました。 委員会委員の選任を行い、 また、各常任委員会委員・議会運営委員会委員・特別 決算認定議案16件をいずれも原案のとおり可決、認定、 ー件を不採択、1件を継続審査と決定しました。 、議決した議案の一覧については11~をご覧ください。 なお、7日開会日に正副議長の選挙を行いました。 議決機関としての体制を整

12月定例会日程(会期18日間)

開会

(会議録署名議員の指名、会期の決定、議案の 正副議長の選挙、 各常任委員・議会運営

委員・特別委員の選任

14 11 日 日 (月) 俭 一般質問 一般質問

議案質疑、委員会付託

建設委員会

産業経済委員会

24 21 18 17 16 日日日日日 (木) (月) (金) (木) (水) 文教厚生委員会

件提案理由説明、採決、閉会中の継続調査) (各常任・特別委員長報告、質疑、 討論、採決、 人事案

閉会

総務委員会

○副議長 (第56代)

○個人質問

(60分) 4人

浅

志 好 隆 滿 江 浩



橋本 幸子 議員

佐保湯 々 木岡浅 星

美

は抽選により決定しています。

般質問を行った議員

正副議長の選挙

○代表質問 90 分 **4**人

○議

(第52代)

良久

議員

(新生阿南

友 (市民クラブ)

住

仁

木

啓

進 (経政会)

正行 (市政同志会)

小

島

代表質問は輪番制で、個人質問本会議における質問の順序は、

本会議・委員会は 公開しています!

● 亀尾 1

貞男

(福井町

同意した人事案件

○監査委員 藤本

圭

(見能林町

人権擁護委員

順子(羽ノ浦町)

傍聴をご希望の方は、市役所3階傍聴受 付にて住所・氏名等を記入し、傍聴席に座 て傍聴していただきます。

傍聴席の定員は本会議が40名、委員会 は10名となっています。

市民の皆様の傍聴をお待ちしております

3

平成26年度一 般会計及び特別会計決算の審査概

を行いました。 般会計及び15事業の特別会計 委員会を開催し、 月16日の日程で決算審査特別 議案について、10月15日、10 を合わせた計16件の決算認定 査としていた、平成26年度一 月定例会において継続審 議案の審査

主な質疑・意見等の内容を報 以下審査の過程で出された

般会計歳入歳出決算

の減少に加え、給与所得者の は、米価下落による農業所得 しているものの、所得割で 均等割で約1600万円増加 て質疑があり、個人市民税は 市民税が増加した要因につい ◇市民税について 個人市民税が減少し、法人

たとの説明があった。 9300万円と大幅に増加し 好調であったことから約8億 大部分を占める企業の業績が し、特に本市の法人市民税の ◇人事評価と行政評価について 度の成果について質疑が

> あり、 説明があった。 るよう検討を進めているとの り効果的な評価システムにな 会計システムとの併用で、よ 業内容の見直しを行い、財務 事務事業を検証し、廃止や事 行政評価に関しては、主要な り、研修の成果が表れている。 的な結果に向けて近づいてお により、評価の値も絶対評価 たが、評価者研修を行うこと 価にかなりばらつきが見られ は本格導入となる。当初は評 たが、平成28年4月1日から は全職員を対象に実施してき 主査級以上、平成24年度から ては平成23年度から課長補佐 人事評 価の試行につい

<mark>特別会計歳入</mark>歳出決算 住宅新築資金等貸付事業

◇収入未済額について

ことから、約1800万円の

所得がわずかながら減少した

は、多くの業種で収益が改善 に減少している。法人市民税 減少となり、合計ではわずか

での回収見込額と未収金見込 終返済期限である平成3年ま を図るとともに、地方債の最 を定期的に発送し滞納の解消 し、滞納者に対して催告書等 比重を置いた人員体制を検討 質疑があり、債権回収業務に のように考えているのかとの の収入未済額について今後ど の予測を立て、 1億9385万9030円

> を講じて滞納額の縮減に努め ていくとの説明があった。 る債権回収業務委託等の対 策

歳入歳出決算 公共下水道事業特別会計

◇不納欠損額について

5398円は、受益者負担金疑があり、不納欠損額の58万原因とその対応についての質不納欠損額が発生している 限内に支払いができない場合等であり、納付書を送付し期 う方を対象に不納欠損処理を 生活保護者と生活に困窮して は戸別訪問して事情を確認し、 いる方で支払能力がないとい したとの説明があった。

副幹事長

湯 横 野

浅 田

隆 守

浩 弘

本

圭

橋

本

幸

子

幹事長

特別会計歳入歳出決算 春日野地域下水道事業

会派の構成が次のようになりました

会

長

住

幹事長

岩

原 友

下

久 計 進

年度から、徴収事務等を民間標に取り組んでいる。平成24 進むと考えており、 収委託業者と情報を共有しな 委託した効果もあり、 244円あるが、その対策と 使用料の未済額が751万1 質疑があり、平成26年度末の 未収金・不納欠損額も改善が ◇収入未済額について 収入未済額の対策につい 今後も徴 過年度

> 組んでいくとの説明があった。 け、口座振替の推進等に取り がら対応し、 徴収率向上に向

> > り、

未納通知の発送、また、

その対策はとの質疑があ

年1回一斉徴収を実施してい

扶養関係にある方の自宅を訪 る。さらに本人以外の家族や

特別会計歳入歳出決算 羽ノ浦農業集落排水事業

9万5190円となっている ◇収入未済額について 使用料の収入未済額が3

あった。

微増ではあるが前年度を上 問し相談をすることにより、

る成果がでているとの説明が

市民クラブ **4**人

新生阿南

6人

会

長

村

栄

幹事長 会長 仁 H 小 木 下 野 啓 公 明 毅 人

眞政会(2人) 会

長 喜 多 啓 史 吉

Щ 崎 雅

経政会(5人)

飯 星 藤

田

忠 美

志

加

保

日本共産党 (2人) 会 長 重 廣

井 坂

保 岡 好 江

公明党(1人) 会

長 奥 田 勇

子どもと未来の会(1人) 会 長 佐々木志滿子

市政同志会(4人)

平

Щ

正

光 久 義 憲

久 山

米

良

幹事長

荒谷 小島

みどり

会

長

正

行

の会 若者たちが受け継ぐ未来 〔 人

会 長 表 原 立 磨

住

友

利

広

市長の政治姿勢 期目の市政運営

 $\stackrel{\diamondsuit}{_4}$

Q ようとしているのか。 リーダーシップを発揮され 本市の明るい未来への 道筋をどのように描き

と認識している。 域かどうか」にかかってくる は「若者にとって魅力ある地 くなるが、地域の持続可能性 により、対応すべき課題も多 本格的な人口減少社会の到来 から成る45の公約を掲げた。 を基本理念に置き、6つの柱 「阿南に住む幸せを次世代へ」 民福祉の向上を図るため、 さらなる本市の発展と市

をもって、市政のかじ取り役 さねば成らぬ」という使命感 成る」という強い意志と、「為 自身への戒めとして「為せば 対する訓辞として、また、私 はもとより、職員一人一人に 未来を切り開くべく、市幹部 活力と笑顔あふれる明るい



◇市民満足度向 E 0

Q 全国でも前例の少ない 実施した思いや、調査結果 をどのように活かすのか。 市民 「幸福度調査」を

け試みた。 として、県内各自治体に先駆 福度という観点を一つの指標 のように評価しているか、幸 の取り組みを市民の皆様がど 期点検を行う上で、これまで Α | 5次阿南市総合計画の前 |今回の調査を通じて、 第

幸福度調査の先進自

唱する「住民の幸福実感向上治体である東京都荒川区が提 向け、具体的な施策への反映 を目指す基礎自治体連合」に について検討を重ねたい。 きる温かい地域社会の実現に 参加し、誰もが幸福を実感で

◇投票率の低下

対策を考えているか。 | 若者の投票率を向上さ せるため、どのような

する予定である。 者を育むことを目的とした 開票等を実施し、主権者とし 挙に関する基礎講義、 選挙管理委員会の協力により 徳島県明るい選挙推進協議会 となるため、12月16日には、 「選挙スクール事業」を実施 自ら考え、自ら行動する主権 ての意識醸成を図るとともに 連合会、県教育委員会及び県 富岡東高等学校で、 ら投票権年齢が18歳以上 来年の参議院議員選挙 政治や選 模擬投

率の向上を図りたい。 時から若者が集うイベント等 き込んだ啓発活動を行い投票 啓発活動だけではなく、平常 議会が中心となり、 積極的に参加し、若者を巻 本市独自の取り組みとして 阿南市明るい選挙推進協 選挙時の

安全安心なまちづくり

◇堤防 対策 決壊等 0

検等の実施状況は。

本市で整備している防災

を行ったところである。 Α

体制の強化に努めたい。 情報共有するとともに、 している。今後においても関 長や副団長への説明会も実施 要であることから、那賀川河 係機関と連携し、現地状況を 区間等について消防団の分団 川事務所に依頼し、重点監視 位観測や堤防状態の監視も重 大雨時には消防団による水

防災

| 台風や集中豪雨による 水害が全国で頻発して

急点検を実施し、法崩れや洗急点検を実施し、法崩れや洗える福井川の重要水防箇所の緊 による被害を踏まえ、避難を 施している。また、本年9月 とともに、洪水に対してリス 掘等の有無について現地確認 国直轄区間や県管理河川であ 促す緊急行動として那賀川の に発生した鬼怒川の堤防決壊 クが高い区間の共同点検を実 止等に関する情報交換を行う 河川及び2級河川の定期点 いるが、市内を流れる1級 |毎年、出水期前に水害防|那賀川水防連絡会では、 出水期前に水害防

◇防災行政無線

Qとして、海部郡のよう できないか。 信機を本市も研究し、設置 た防災放送が聞ける戸別受 に各戸に光ケーブルを使っ |防災無線の聞こえ対策

きるかは重要な課題であるの 信はできないが、防災情報を ことから、海部郡と同様の配 とケーブルテレビ業者などが 放送が流れるようになってい は役場と行政区域の全家庭を 送の配信については、海部郡 用の戸別受信機が必要となる で、光ケーブル網の活用も含 いかに市民の皆様方に伝達で よりサービスを提供している それぞれの光ファイバー網に る。本市では、NTT西日本 直接光ファイバーで結び、各 とが一つの課題でもある。 が、設置費用が高額になるこ 伝達方法について調査研究を 家庭に設置した告知端末から で直接受信するためには、 光ケーブルを使った防災放 各家庭で受信可能な情報 行政無線を各家庭の室内

◇スズメバチ対 策

Q |スズメバチの巣の駆除 費用を助成できないか。

体が大部分である。 する全額個人負担という自治 さまざまであるが、私有地に ついては所有者の責任で対処 より一部負担から全額負担等 Α 蜂の種類、営巣場所等に 自治体からの費用補助は

り方等について調査研究を行 今後、全国自治体の対策のあ した自治体もあることから、 虫駆除に係る費用補助を廃止 メバチをはじめとする衛生害 事業の見直し等により、スズ い検討したい。 また、一部自治体では事務



移住・定住施策の推進

◇地 域おこし協力隊の導入

Q 若者定住促進本部の設 リー」ターン促進

> 的と活動内容は。 域おこし協力隊」の設置目的に取り組んでいるが、「地 域おこし協力隊」 事業の強化等について精力

を設置目的としている。 力の維持及び向上を図ること の定住及び定着を促し、地域 の人材を積極的に誘致し、そ が進む本市において、地域外 において、人口減少や高齢化 地域おこし協力隊設置要綱」 月から施行している「阿南市 隊員を配置する。平成27年10 望する地域に地域おこし協力 Α 域、市内NPO法人の要 平成28年度から加茂谷地

ている。 らの移住促進に係る支援とし 係る支援、地域行事に係る支 地域コミュニティー活性化に 振興に係る支援、地域資源の 発掘及び観光振興に係る支援 活動内容は、農林水産業の 地域間交流及び他地域か

◇UIJターン促進事業

ばれたが、移住希望者が登住しやすい街23に本市が選 録できる人材バンクの状況 のなかで、3つ星の特に移 Q _|週刊誌「AERA」で 移住しやすい街110

> 業への呼びかけを続けたい。 と特別講演会、また、 2日には、市内企業8数社が においても、引き続き市内企 録をお願いをしている。今後 U 阿南の新規一般求人の際にも 00件程度あるハローワーク 参加している阿南高専助成会 在で17件となっている。12月している企業は、12月1日現 A IJターン専用窓口への登 Jターン専用窓口に登録 ハローワーク阿南 . 月間 3 の U

地域 医療の確 立

Q 阿南医療センターの進

捗状況は。

阿阿

南医療センターの取

組

を初め、阿南医師会中央病院譲渡契約の締結など財務事項 ての基本協定書」を締結した。 めた「医療センター設立に向け 的に協議を進めてきた。10月医師会及び本市の3者が精力 与等について人事労務事項を定 から移籍する職員の処遇や給 譲渡の方法や譲渡日及び別途 院からJA徳島厚生連への事業 7日には、阿南医師会中央病 Α JA徳島厚生連、 平成30年の開院に向けて JA徳島厚生連にお 阿南

> 基本設計業務の完了を目指し 支援をしたい。 ており、本市も一日も早く新 できるよう努めていると伺っ な限り早期に建築工事に着手 設計業務に取りかかり、可能 て進めており、引き続き実施 いて、現場の声を聞きながら 病院が開院できるよう可能な

◇ドクターへりの 発着

ーヘリの発着は。 実が必要であるが、 発揮できる体制や施設の充 時の拠点病院として機能を [Q]っきな役割として、災害 | 阿南医療センターの ドクタ

可能な施設にすることを基本 災害時の医療サービスが提供 ともに、設備機器の耐震設計 自立した診療活動ができると 方針としている。 よる病院内部機能の保持など 薬品等の備蓄などで一定期間 づくりを目指し、ライフライ ン断絶時のバックアップや医 災害時に対応できる病院 地震や風水害等の大規模

ポートを新設する予定である 新病棟は、 の東側に建設する6階建ての 現在の阿南医師会中央病院 ヘリが発着できる屋上ヘリ 災害派遣医療チーム 免震構造でドクタ

> 害救急医療体制が整備された 新病院になると考えている。 を充実するなど、広域的な災

◇健康づくりセンター

Q 基本的な構想は。 健康づくりセンター」 | 阿南市医師会所有の 地に本市が建設する

患者の処置を行う2次救急を 持つ施設を整備することで、 担う医師等の負担軽減にもな の集中を防ぐとともに、重症 新病院の災害時における患者 を設置する。こうした機能を 処置を行う1次救急の診療所 施設とする。また、休日等に の活動拠点として機能を持つ を確保し、阿南市医師会会員 生時に対応するスペースなど 心施設となり、患者の多数発 ると考えている。 比較的症状の軽い急病患者の 置される医療救護所の中 災害時に市内10カ所に設

拠点施設となる「健康づくり に完成する予定である。 センター」を新病院開院まで 健康づくりの推進につながる 事業を行う。本市は、市民の 保健指導及び健康診査などの ンターを移転し、健康相談、 会館内に設置している保健セ 併せて、現在阿南ひまわ

◇離島医療の診療体

制

Q 伊島診療所の診療日を 週1回から何日か増や

となっており、 院にも協力をいただけること 栄病院及び阿南医師会中央病 続き協力をお願いするととも 阿南市医師会には今後も引き 欠な診療所であることから、 康保持増進のために必要不可 となっている。伊島住民の健 が48日、診療件数が722件 に、平成28年度からは阿南共 る。平成26年度は、診療日数 週1回の夜間診療を行ってい 南市医師会の協力により 伊島診療所では阿 診療体制の維

> かどうかは、他市の状況等を助成制度に所得制限を設ける を進めている。 施できるよう、現在、 度のできる限り早い時期に実 る事業であるため、平成28年 育成の観点から何より望まれ て支援、少子化対策、次世代 参考にしながら十分検討した なお、制度の実施は、子育 準備等

☆インフルエンザ予防

Q に費用の一部助成をしては。 |2回受けなければなら ない13歳未満の子ども

めたい。 齢と助成額については、阿南 を考えている。なお、助成年 成28年度から接種費用の助成 を図ることなどを勘案し、平 上や子育て家庭の負担の軽減 れのある子どもの接種率の向 エンザの発症から重症化の恐 こうしたことから、インフル 全額個人負担となっている。 ではなく任意の接種のため、 種は国が定める定期予防接種 しているが、子どもの予防接 として、費用の約半分を助成 医師会と相談をしながら進 国が定める定期予防接種 現在、65歳以上の方には

◇医療費助成制

度

子育て支援の充実

 $\overline{\mathsf{Q}}$

|現在、中学3年生まで

の医療費助成を18歳ま

◇出 産助成や入院助成

置はできないか。 ンの発行や入院費の助成措 が、検診クーポン外クーポ れる件数が増加傾向にある Q |社会環境や晩婚化によ り切迫流早産と診断さ

たい。 じることが義務づけられてい 等法に基づき必要な措置を講 る手段として、母子健康手帳 よう、保健指導の徹底を図 を有効に利用していただける 疾病予防のため、このカード る。働く妊婦の健康管理及び た事業主は、男女雇用機会均 項連絡カード」が掲載されて の中に「母性健康管理指導事 受けた指導内容を職場に伝え 等から健康保持などについて を受けることができる。医師 いる。このカードが提出され Α その際は医療保険で治療 | 切迫流産や切迫早産は要 医療に該当する場合が多

国・県と連携を図り啓発に努 きかけるとともに、事業主等 成措置について、 ポンの発行や入院費などの助 づく措置が講じられるよう、 保健協議会等の関係機関に働 へは男女雇用機会均等法に基 また、検診クーポン外クー 徳島県母子

300万円を見込んでいる。

また、実施時期については。 ける該当者や必要な財源は、 で延長した場合、新たに受

該当者数は約2300人、

財源については年間約4

介護保険事業

◇地 域支援 事 業

るまちづくりに大変重要であ 域で安心して暮らし続けられ なっても本人の意思が尊重さ 発に努めることは、認知症に れ、できる限り住み慣れた地 ついての正しい知識の普及啓 A 人でも多く養成し、認知症に 本市のサポーター数は。 のことについてのご所見と ポーターを創設したが、こ を養成するため、認知症サ 支援するサポーターを一 認知症の人やその家族を |認知症の方やその家族 を温かく見守る応援者

積極的に支援したい。 も引き続き養成講座の開催を 知症高齢者1人を認知症サポ 末では1632人に増え、認 の108人から平成2年11月 ポーター数は平成26年3月末 を積極的に支援しており、サ いまちづくりを目標に、今後 ーター1人が支えられる優し 症サポーター養成講座の開催 本市では、昨年度から認知

◇バイオマス産業都 想

再生可能エネルギー

Q 申請してはどうか。 バイオマス産業都市認定を を展開する企業があるが、 スや竹バイオマスなど |本市では木質バイオマ

けた。本計画は太陽光発電、 に精査し、今後の国の動向を うなメリットがあるか、慎重 どの再生可能エネルギーの理 風力発電、バイオマス発電な ギーパーク計画」の認定を受 ルギー庁より「次世代エネル 平成20年6月3日に資源エネ 見極めながら関係各課と協議 っても企業にとってもどのよ たことから、バイオマス産業 先など優遇的なものがなかっ 補助制度及び公募時の採択優 のであるが、認定後において ーマパークづくりを目指すも ことができるエネルギーのテ 解を深めるため、見て触れる 都市認定の申請は、本市にと の方向性を見据えるため、 びに地域再生可能エネルギ 渇、地球温暖化への対応 本市では、化石資源の枯

ると考えている。

Α

|補助対象住宅は、市内に

対象工事費の助成額は、 オーム補助金の申請件

居住の方が市内に所有す

SH

南医療センタ の進入路整備

道路網の整備

Q

| 平成26年度の住宅リフ

◇住宅リフォーム補助

金

住宅整備

水産振興

◇地場水産業の活性化

設として有効利用できない ビの栽培漁場を水産振興施 同組合の管理するクルマエ $\overline{\mathsf{Q}}$ |旧中島漁業協同組合、 現在は阿南中央漁業協

を行い中間育成場として機能 底地部分の砂の入れかえなど が必要となり、平成21年度にの品質確保のための底質改善 されたが、潮流の関係やエビ 効利用について検討したい。 関や団体と連携しながら、有 たが、現在未使用となっている。 を有効に発揮するよう努力し た。整備当初は有効に利活用 合の要望なども聴取し、徳島 マエビ中間育成施設」であっ 今後、阿南中央漁業協同組 漁業協同組合など関係機 徳島県が整備した「クル 昭和63年に

> 状況は。 Q |新病院のアクセス道路 である新設市道の進捗

を進めている。 画の承諾を得て測量設計業務 その後、用地所有者に道路計 |本年9月定例会で「市道 荒井幹線」と認定され、

業務を完了する予定である。 設計、平面交差点詳細設計を 縦横断計画が経済的で合理的 を進めながら、道路構造物や 徳島県公安委員会等との協議 者の徳島県南部総合県民局、 することにより道路法線を確 得に必要な用地測量等を実施 現地測量、路線測量、用地取 ルートとして決定され、現在、 夕阿南店の東側ルートが最適 行っており、 な計画となるよう、道路詳細 定するとともに、旧国道管理 概略設計では、 本年度末までに ネッツトヨ

> 分の1の補助率で上限2万円 年以上経過した住宅のリフォ 年度も引き続き継続したい。 の補助を行うものであり、来 条件とし、補助対象経費の5 や床等に固定することを必 メートル以上の家具を全て壁 る住宅で、申請時に建築後5 ムに併せて、高さが1・5

72件、取り下げ等の件数が8が80件、うち補助決定件数が 件、対象工事費の総額は94 付総額は1178万円である。 12万7247円、 実績については、 申請件数

教育行政

◇キャリア教育

容であったのか。 たと聞くが、どのような内 キャリア教育に取組んでい Q |福井小中学校では文部 科学省の指定を受け、

業所などを訪問して、 ての学習である。小学校では きることを目的に研究された。 3年生から6年生が地域の事 取組内容の一つは職業につい 主体的に進路を選択、決定で [A] 児童・生徒が正しい勤労 聞き取り調査を行った。 仕事見

> 験学習を行った。 中学校では、2日間の職場体

階に応じた取組が行うことが 携しながらそれぞれの発達段 生き方を学び、小中学校が連 を聞いたりすることで多様な 県内外で様々な方面で活躍し 習であり「先人の生き方に学 先人の生き方に学ぶという学 できたと伺っている。 小グループに分かれて直接話 ている方を学校にお招きし、 ぶ交流会」を何度も開催し、 また、もう一つの取組

夏の小学校の授業風景

◇教育施設の充実

のように把握しているのか。 |エアコンの導入につい て、各学校の現状をど

で約9%、

◇学校図書館 の運 営

Q の配置と、 |小中学校への学校司 他市の配置

ため、今後は、学校司書を配 凝らしながら、学校図書館の 置することが必要となってくる。 活性化を図ることが望まれる 連携し、新たな視点や工夫を できるよう学校と学校司書が 主的に学校図書館を活用 すべての子どもたちが

来年度から学生ボランティア 置に向けて検討を重ねている。 おいては、 るのが徳島市である。本市に を要請のあった学校へ派遣す いるのが、鳴門市と三好市。 有償ボランティアを配置して 他市の状況は、 現在、来年度の配 嘱託職員、

のうち3室の設置で約18%と 及び特別教室の合計211室 計373室のうち33室の設置 24室の設置で約55%、小学校 の管理諸室を除く41室のうち 設置率は、幼稚園が職員室等 幼稚園、小中学校のエアコン 設置する予定となっている。 パソコン教室にも来年度中に アコンを設置しているほか、 は普通教室及び特別教室の合 現在の状況は、全ての学 幼稚園の保健室にエ 中学校は普通教室

救急業務

◇救急救命 士:

置が行われているのか。 状況と、どのような応急処 いるが、救急救命士の配置 救急現場では的確な判 断で応急処置がされて

が行える。さらに、 管内チューブによる気道確保 投与が行える。また、病院で アルマスクによる気道確保、 閉鎖式エアウェイ・ラリンゲ 路確保のための輸液及び気道 乳酸リンゲル液を用いた静脈 定のほか14項目を行ってい 確保や観察用資機材による測 置等の基準」に基づき、気道 めた「救急隊員の行う応急処 症例のブドウ糖溶液の投与が ね認定を受けると低血糖発作 定を受けた救急救命士は、気 気管内挿管の実習を修了し認 エピネフリンを用いた薬剤の 応急処置については、国が定 名配置体制で出動している。 医師の具体的指示により 救急救命処置について 名で救急車1台につき2 救急救命士は、 実習を重 現 在、 22

鶴羽良輔 謹んで御冥福を 議員 逝去

を悼み追悼演説が行われました。

12月定例会において、11月19日逝去された故鶴羽良輔議員

お祈りいたします

平成9年11月から5期連

園建設特別委員会委員長、 として御活躍してこられた 庁舎建設特別・定住促進対 行財政改善特別·文教厚生· 運動公園建設特別・建設 查特別委員会委員長、健康 建設委員会委員長、決算審 長、市議会副議長、運動公 成27年11月19日逝去されま 鶴羽良輔議員(55歳)が平 続18年にわたり市議会議員 議員在職中は、市議会議

に御尽力くださいました。 務められるなど、市政発展 策特別委員会副委員長等を ここに謹んで哀悼の意を 御冥福をお祈りいた



鶴羽 議員に対する追悼演

鶴羽議員を悼み、阿南市議 19日に御逝去されました故 だいま議長のお許しをいた じます。 会を代表いたしまして謹ん だきましたので、去る11月 で追悼の意を表したいと存 いただきますとともに、た 同僚議員の温かい配慮を

禁じ得ないところでありま きず、議員一同惜別の情を とお声にも接することもで 1人議席に在りし日の容姿 定例会の開会に当たり、今 今日ここに平成7年12月

年11月、阿南市議会議員に 持って、幅広く市政の諸問 ぎない政治信念と実行力を 情を把握され、的確な判断 きにわたり、その時々の実 初当選され、5期18年の長 の人望を集められ、平成9 題に取り組まれたのであり で物事を推進していく揺る かつ卓越した識見にて多く あなたは責任感が強く、

> ます。 発展並びに住民福祉の向上に 設委員会、決算審査特別委員 平成20年には議長、さらに建 と信じてやまないものであり ず後世にその名を留めるもの ける幾多の功績や人柄は、必 れました。あなたの生涯にお 献身的な努力を傾注してこら を遺憾なく発揮され、市勢の な政治信念を持ってその力量 の各委員長を歴任され、真摯 会、運動公園建設特別委員会 この間、 平成15年に副議長

ました。 見事4期目の当選を果たされ 報告いたします。11月22日に 4選目の選挙であります。 御 られました、岩浅嘉仁市長の 本当に心から心配をされてお 鶴羽議員、生前、 あなたが

央省庁、議員会館に要請に行 いて期成同盟会の皆さんと中 水対策や高規格道路問題につ の暑いときは長安口ダムの渇 課題や施策の実現に向け、夏 おられたころに阿南市の重要 鶴羽議員、あなたが元気で

> 昨日のように目に浮かびます。 と一緒に行動ができたことが 向けて、何年も何度もあなた 痛恨の極みであります。 南市の地域医療体制の確立に 市民の皆さんに公約された阿 特に4期目の岩浅市長が

当に残念でなりません。 て期待されていただけに、 れから市政推進の牽引役とし 次第でございます。享年59歳 意を新たにお誓い申し上げる を受け継ぎ、阿南市の発展と 信条を常に深く胸に刻み、志 た悲しみに耐えて、私たちは ますとき、故鶴羽議員を失っ かほどでありましょうか。こ の若さであなたの御無念はい たすことを私ども議員一同決 活力ある地域づくりに精進い 故鶴羽議員の残された業績と しかし、本市の現状を考え 本

します。 りますよう心からお願いいた の前途に限りなき御加護を賜 たえし、ひたすら御冥福をお 影を偲び、生前の功績をおた しまして、 祈りし、 に故鶴羽議員の在りし日の面 言葉は尽きませんが、ここ 御遺族並びに阿南市 追悼の言葉とい

良ちゃん、ありがとう。

議員代表 屮 久義

介護報酬改善と介護従事者の処遇改善施策の拡充に関する意見書

人口急減・超高齢社会となる我が国において、これからの地域社会を守り、豊かなものにしていくためには、国民が将来にわたって不安を感じることなく、安心して暮らしていける地域包括ケアシステムの構築が不可欠である。しかしながら、社会保障と税の一体改革が進むにつれ、効率化と重点化が急がれる中で、市場経済に照らした適正化を図るとして、平成27年度から介護報酬(介護給付)の大幅な削減が実施されているところである。

我が国のこれからを支える基盤的産業として、介護サービスの提供、福祉的地域づくりの面はもとより、雇用・地域経済の点からも介護分野が果たす役割は極めて大きなものであり、今後ますますの進展が望まれる。

これに対して、大幅な報酬削減を行うことは、高齢者の暮

らしに多大な不安をもたらすばかりでなく、地域包括ケアの 担い手としての介護従事者の処遇改善を停滞させることとな り、ひいては生活不安からくる離職、地域経済の減退へとつ ながる「負のスパイラル」を到来させることになる。

よって、国においては、以上の趣旨を踏まえて、平成27 年度介護報酬改定における削減を早急に見直し、大幅に改善するとともに介護従事者の処遇改善について、消費税財源のいかんを問わず拡充を図られるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年12月24日

徳島県阿南市議会

提出先 内閣総理大臣 厚生労働大臣 財務大臣 総務大臣

さらなる年金削減の仕組み「マクロ経済スライド」の廃止を求める意見書

消費税の増税や生きるために欠かせない食料、光熱費、医療費など物価が上昇する中、年金削減の連続により高齢者の生活は一層厳しさを増している。世界第3位の経済大国日本で、65歳以上の高齢者3,140万人のうち、約4割の高齢者が今なお月額10万円以下の低年金で暮らしている。

物価が上がればそれに応じて年金を引き上げ、その価値を維持する「物価スライド」の制度の上に、少子高齢化の度合いに応じた調整率で上げ幅を縮小する「マクロ経済スライド」の仕組みを、さらに厳しいものに改める見直しが進められている。すなわち物価が上がった時はもちろん、下がっても構わず調整(縮小)できるように改変し、さらに年金額削

減を可能にするものである。

厚生労働省の平成26年財政検証では、この先30年間、年金を下げ続けることを予定している。政府は、制度の持続性を強調しているが、このような年金制度では高齢者の生活を保障することはできない。また、地域経済や地方創生にもマイナス影響を及ぼすものである。よって、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年12月24日

徳島県阿南市議会

提出先 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 総務大臣

ヘイトスピーチ対策に関する意見書

昨今、特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動、いわゆるヘイトスピーチが行われており、この言動に対して反対する声が高まりつつある。このような中、平成26年12月10日には、最高裁判所が、ヘイトスピーチを行った団体の発言を人種差別撤廃条約にいう人種差別に該当すると認定するとともに、同団体の示威活動等の行為が表現の自由によって保護されるべき範囲を超えていると判断した。

国連人種差別撤廃委員会も、在日韓国・朝鮮人らを対象と したヘイトスピーチに関連して、人種差別の禁止に向けて特 定もしくは包括的な法整備を行うよう日本政府へ勧告したと 伝えられている。

よって、本市議会は、国会及び政府に対し、ヘイトスピーチに対する早急な対策を講ずるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年12月24日

徳島県阿南市議会

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 法務大臣

席に れの して のする庁舎と親切な案内係にわ ことも 9 員と るが、 が があったが、そ せい 市 わくしながら3 うひそか である新庁舎を 傍 <u>人</u> と に着き、 2起こってい の 議案を十分に話し合 聴させて 思 達 人 議会の傍聴は昔来たこと 主 17 わりちょっと拍子抜 いつ う時間で つとり る様子が解っ のか、関 あって新鮮な気分で私 に誘 11 ように傍聴することで が機会がある。 議会の重要性を、議会の重要性を、議会の重要性 が、決議案のおう開会を待った 新庁舎の高層部と 意見交換も 議場で傍聴させ 他に2人の 地 な思いも わ 広々として木の が、 元議員を誇らしく ただい て、 階 n 何 の仮 配し合い合いな た。 なく、 た。 度見 あり 報告などで が 方と傍 会最 必 議場 政治に 政治に がけした 閉会日 考える た 楽 要 淡 建 審 n 61 匂 か、 うが 聴 達 市 々

紹介します。 た市議会を傍聴しての感想をご 棚野 久子さんからいただい



委員会の審査状況

以下審査の過程で出された質疑・意見等の内容を報告し 各常任委員会では、付託された議案の審査を行いました。

設

として、 を予定しており、今年度は、 黒地改良住宅の手すり修繕を 0万円である。また、大京原・ よる修繕の合計は37件、67 所3万円などであり、台風に で40万円、 79万円、 良住宅17戸で180万円を計 大京原改良住宅30戸、黒地改 今年度と来年度に分割し修繕 台風11号の被害に伴う修繕額 の内容について質疑があり、 分では、土木費の住宅修繕費 ◇一般会計補正予算の関係部 しているとの説明があった。 市長提出議案1件を審査 雨漏り等が27戸で5 内装等修繕が2件 隔壁板修繕が8カ

産業経済委員会

市長提出議案1件を審査

集積を促進するため、平成26 地中間管理機構を通じた農地 内容について質疑があり、農 集積協力金交付事業補助金の 振興費に計上されている機構 分では、農林水産業費の農業 ◇一般会計補正予算の関係部

> 置分であるとの説明があった。 と経営転換協力金の両支援措 町西分集落の地域集積協力金 この制度を活用して、津乃峰 される経営転換協力金がある。 個々の貸し出しに対して支援 農業をリタイアする場合に、 貸し付けられる場合に支援さ 以上が、農地中間管理機構に あり、地域内農地の一定割合 年度に創設された支援措置 れる地域集積協力金や、経営

厚生委員会

市長提出議案5件、 請願4

陳情1件を審査

今後、市内3カ所の整備を予 中のため決定していないが、 助金で、現在、事業者は募集 を整備する事業者に対する補 り、29人までの地域密着型の 助金の内容について質疑があ また、民生費の子育て支援費 定しているとの説明があった。 小規模な特別養護老人ホーム 着型介護老人福祉施設整備補 務費に計上されている地域密 分では、民生費の社会福祉総 ◇一般会計補正予算の関係部

今回、地質調査委託料として を購入して建設する予定で、 事業の実施場所及びその規模 説明があった。 模の2支援を考えているとの る。計画段階では定員40人規 146万5千円を計上してい たに富岡小学校の東側に用地 ており、施設の老朽化に伴う 町の農協会館の3階を利用 2児童クラブは、現在、領家 について質疑があり、 で行う放課後児童クラブ運営 ◇さらなる年金削減の仕組 契約解除の申し出があり、 富岡第 新

った。 さらに年金を抑制しようとし 「マクロ経済スライド」の廃 きであることから、この請願 度を構築するためには、国が クロ経済スライドを適用して 止を国に求める意見書採択に には賛成であるとの意見があ 責任をもって財源を確保すべ ているが、持続可能な年金制 ついての請願の審査では、マ

総 会

市長提出議案7件を審査

この制度によるメリットと住 特定個人情報の提供に関する 民基本台帳カードとの重複に ンバー通知カードは、全ての 条例の制定について、 住民に届いているのか。また、 ◇阿南市個人番号の利用及び マイナ

があり、 するまで使用可能であり、マ ドは10年間の有効期限が満了 の重複については、住基カー ある。住民基本台帳カードと ると、転入・転出の際に必要 の自治体との連携が開始され の利用については、国や全国 ている。また、マイナンバー 約3500名分のマイナンバ よる混乱はないのかとの質疑 不要になるなどのメリットが であった各種証明書の提出が ー通知カードが返送されてき 現在、 約2100通

られないのかとの質疑があり 仮庁舎のリース料が発生して 新庁舎建設工事の工期延長で て運用していくこととなって することで、両制度を並行し イナンバーカードについては いるが、受注者に負担を求め 仮設庁舎整備事業について、 分では、債務負担行為補正の いるとの説明があった。 市が規定した事務のみに使用 ◇一般会計補正予算の関係部

11月10日 11月4日 務組合 和歌山県有田周辺広域圏事 「新庁舎建設」 千葉県旭市 「野球のまち阿南推進事業」

行政視察受入状況

「エコパーク 阿南

11 月 11 日

工期遅延については、建設業

群馬県桐生市

11 月 12 日 「野球のまち阿南推進事業」

11 月 13 日 「野球のまち阿南推進事業」

埼玉県本庄市

静岡県御殿場市

野球のまち阿南推進事業」

注者から工期の延長が請求で

者負担等は考えていない。ま

ることから、リース代金の業 も遅延期間の短縮に努めてい

た、建築工事においては、

断しており、受注者において やむを得ない事情であると判 易度、工事作業の制限等から 界を取り巻く環境、工事の難

> るとの説明があった。 基づき、契約変更を行って きるという契約約款第21条に



12月定例会議決結果一覧

〈条例議案〉

第1号議案	阿南市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	(原案)	可決)
第2号議案	阿南市消費生活センター条例の制定について	(原案)	可決)
第3号議案	阿南市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について	(原案)	可決)
第4号議案	阿南市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	(原案)	可決)
第5号議案	阿南市税条例等の一部改正について	(原案)	可決)
第6号議案	阿南市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	(原案)	可決)
補正予算議案〉			
第7号議案	平成27年度阿南市一般会計補正予算(第2号)について	(原案)	可決)
第8号議案	平成27年度阿南市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	(原案)	可決)
(その他の議案)			
第9号議案	新市まちづくり計画の一部変更について	(原案)	可決)
第11号議案	岩脇こどもセンター(仮称)建設工事のうち建築工事の請負契約の締結について	(原案)	可決)
人事議案〉			
第10号議案	財産区管理委員の選任について	(原案	司意)
第12号議案	副市長の選任について	(原案	
第13号議案	監査委員の選任について	(原案	
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	(適	任
《議員提出議案》		· <u>·</u>	14
議第1号	介護報酬改善と介護従事者の処遇改善施策の拡充に関する意見者	(原案)	可決
議第2号	さらなる年金削減の仕組み「マクロ経済スライド」の廃止を求める意見書	(原案)	
議第3号	ヘイトスピーチ対策に関する意見書	(原案)	
請願〉	11/70 / 内水に因りる必須目	(水米)	317
請願第4号	地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める請願	(継続	定本
請願第5号	介護報酬改善と介護従事者の処遇改善施策の拡充に関する請願	(採	択
前原分 3 分	である年金削減の仕組み「マクロ経済スライド」の廃止を国に求める意見書採択につ	(1/K	1 /
請願第6号	いての請願	(採	択
請願第7号	国庫負担を増額し、国民健康保険税(料)の引き下げを求める請願	(不採	択)
(陳情)			
陳情第2号	ヘイトスピーチ対策に関する陳情(継続分)	(採	択
9月定例会で維	^迷 続審査となっていた決算認定議案〉		
第18号議案	平成26年度阿南市一般会計歳入歳出決算の認定について	(原案語	刃宁
笠10早镁安			心化
免13万 献余	平成26年度阿南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案記	
	平成26年度阿南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について		忍定
第20号議案		(原案記	認定認定
第20号議案 第21号議案	平成26年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案記 (原案記	認定 認定 認定
第20号議案 第21号議案 第22号議案	平成26年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案語 (原 案 語 (原案語	認定 認定 認定 認定
第20号議案 第21号議案 第22号議案 第23号議案	平成26年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案記 (原案記 (原案記 (原案記	認定認定認定認定
第20号議案 第21号議案 第22号議案 第23号議案 第24号議案	平成26年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案 (原案 (原案 (原案 (原案 (原案 (原案 (原案	忍定定定定定定定定
第20号議案 第21号議案 第22号議案 第23号議案 第24号議案 第25号議案	平成26年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案 (原案 (原案 (原案 (原案 (原案 (原案	忍定定定定定定定
第20号議案 第21号議案 第22号議案 第23号議案 第24号議案 第25号議案	平成26年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案案 (原案案 (原案案案 (原原案案案 (原原案案案	認定定定定定定定定定定
第20号議案 第21号議案 第22号議案 第23号議案 第24号議案 第25号議案 第26号議案	平成26年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市分護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案 (原案 (原案 (原案 (原案 (原案 (原案 (原案 (原案	忍定定定定定定定定定
第20号議案 第21号議案 第22号議案 第23号議案 第24号議案 第25号議案 第26号議案 第27号議案	平成26年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市分護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案	忍忍忍忍忍忍忍忍忍忍
第20号議案 第21号議案 第22号議案 第23号議案 第24号議案 第25号議案 第26号議案 第26号議案 第27号議案	平成26年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案	忍忍忍忍忍忍忍忍忍忍
第19号議案 第20号議案 第21号議案 第22号議議案 第23号議議議案 第24号議議議案 第25号号議議案 第27号号議議案 第29号議議案 第31号 第31号	平成26年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市	(原)	認 思 思 思 思 思 思 思 思 思 思 思 思 思 思 思 思 思 思 思
第20号議案 第21号議案 第22号議案 第23号議案 第24号議案 第25号議案 第26号議案 第27号議案 第28号議案	平成26年度阿南市加茂谷診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市加茂谷財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市伊島地区生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について 平成26年度阿南市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(原案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案案	認定 認定 認定 認定 定定 定定 定定 定定 定定 定定

		氏	名	住 所	電話番号	所属会派
議	長	久米	良久	横見町高川原23番地2	22 - 4057	経政会
副	議長	橋本	幸子	那賀川町赤池304番地4	42 - 0658	市民クラブ

	委員長	₹	住友	進一	那賀川町色ケ島網干68番地	42 - 0617	経政会
松公	副委員長	₹	藤本	圭	見能林町大作半16番地5	22 - 5477	新生阿南
終	委員	1	星加	美保	羽ノ浦町春日野1番地588	44 - 5048	新生阿南
総務委員会	委員		山下	久義	富岡町寿通34番地	22 - 7086	経政会
員	委員		住友	利広	宝田町梅の本517番地1	22 - 2337	市政同志会
云	委員	₫	日下	公明	加茂町大西35番地2	25 - 0708	市民クラブ
	委員		喜多	啓吉	富岡町トノ町28番地4	23 - 4322	真政会

文	委員	長	飯田	忠志	長生町西山198番地3	23 - 1735	新生阿南
教	副委	員長	林	孝一	新野町信里7番地11	36 - 3336	市政同志会
	委	員	野村	栄	福井町古津193番地	34 - 2540	新生阿南
教厚生委員	委	員	岩原	計憲	羽ノ浦町岩脇阿千田101番地6	44 - 3427	経政会
員	委	員	橋本	幸子	那賀川町赤池304番地4	42 - 0658	市民クラブ
会	委	員	保岡	好江	津乃峰町新浜67番地2	27 - 1756	日本共産党

産	委員	長	佐々木	志滿子	橘町荒神ノ上23番地2	27 - 1833	子どもと未来の会
業	副委	員長	仁木	啓人	長生町恋田2番地1	22 - 2517	市民クラブ
矮	委	員	横田	守弘	内原町中分75番地1	26 - 0348	新生阿南
産業経済委員会	委	員	荒谷み	みどり	黒津地町戎野22番地	22-1157	市政同志会
員	委	員	山崎	雅史	上中町岡246番地	23 - 2281	真政会
会	委	員	奥田	勇	楠根町奥山17番地6	25 - 0773	公明党

	委員	長	小島	正行	椿町香94番地	33-0729	市政同志会
建	副委	員長	平山	正光	那賀川町黒地477番地8	21 - 2890	経政会
冀	委	員	湯浅	隆浩	羽ノ浦町中庄かわら池19番地	44 - 2993	新生阿南
設委員会	委	員	小野	毅	那賀川町黒地492番地	42-0649	市民クラブ
会	委	員	井坂	重廣	才見町光の大地1番地23	23-2048	日本共産党
	委	員	表原	立磨	富岡町あ石27番地4	22-0511	若者たちが受け継ぐ未来の会

*常任委員会は、阿南市議会委員会条例で委員会の名称、定数、所管が次のとおり規定されています。

なお、議長は中立公平の観点から、委員会に所属していません。

委員会名称 (定数)	所	管
総務委員会(7人)	企画部、総務部、防災部、消防本部 監査委員、公平委員会、固定資産 並びに他の常任委員会の所管に属し	評価審査委員会に関する事項
文教厚生委員会 (7人)	市民部、環境管理部、保健福祉部別	及び教育委員会に関する事項
産業経済委員会(7人)	産業部及び農業委員会に関する事項	Ą
建設委員会(7人)	建設部、特定事業部及び水道部に関	関する事項

議会	運営委員会	
委員長	野村	栄
副委員長	住友 進	_
委 員	横田 守	弘
委 員	湯浅 隆	浩
委 員	岩原 計	憲
委 員	小島 正	行
委 員	日下 公	明
委 員	仁木 啓	人
委 員	喜多 啓	吉
委 員	井坂 重	廣

地震	• 津波	対策特別	委員会
委員	長	岩原	計憲
副委	員長	小野	毅
委	員	横田	守弘
委	員	藤本	圭
委	員	飯田	忠志
委	員	山下	久義
委	員	荒谷み	タどり
委	員	林	孝一
委	員	日下	公明
委	員	山崎	雅史
委	員	保岡	好江
委	員	佐々木	志滿子

定住促進效	付策特別委員会
委員長	星加 美保
副委員長	井坂 重廣
委 員	野村 栄
委 員	湯浅 隆浩
委 員	住友 進一
委 員	平山 正光
委 員	小島 正行
委 員	住友 利広
委 員	橋本 幸子
委 員	仁木 啓人
委 員	喜多 啓吉
委 員	奥田 勇
委 員	表原 立磨

那賀川北岸地域港	基水防除施設組合
久米	良久
岩原	計憲
小島	正行
佐々木	志滿子

かせください。 に親しんでいただける紙面 様に親しんでいただける紙面 がはいこ意見、ご感想をお聞 ないます。





編集委員会の新しい委員構



電話22日(水) 委員会 3月1日(水) 一般質問 3月22日(水) 委員会 3月22日(水) 委員会 3月22日(水) 委員会 3月22日(水) 委員会 3月22日(水) 委員会 3月22日(水) 委員会 3月21日(水) 专家 3月21日(水) 专家

3月定例会の予定